

## 文科省の大学政策に どう応えるか

高等教育研究センター  
加藤 鋤三  
2012年7月24日

1

## 直近の文科省の大学政策 1

3月26日,【審議まとめ】

『予測困難な時代において生涯学び  
続け、主体的に考える力を育成する  
大学へ』

テーマ: 欧米並みの**学修時間の確保**

2

## 直近の文科省の大学政策 2

6月4日

国家戦略会議での文部科学大臣の説明資料

『社会の期待に応える教育改革の  
推進』

「教育改革 **7つ**のポイント」のうち  
6項目が大学関係

3

## 直近の文科省の大学政策 3

6月5日

文部科学省

『大学改革実行プラン』

「社会の期待に応える教育改革の推進」を**どう  
実施していくか**

4

## 政策にどう応えるか

文科省の政策文書への応え方

1. 文書で言われている具体策の**例を実行**する  
例: 『審議まとめ』での「質的転換への好循環」  
≒ 学生に勉強させるための方策

- ・学修成果の把握 (**到達度の測定, ルーズリック**)
- ・教員の教育力の向上 (**FD, 教員評価**)
- ・教育方法の改善 (**アクティブラーニング**),  
成績評価の厳格化 (**GPA**)
- ・教育課程の体系化 (**シラバス, ナンプリング**)

5

## 政策にどう応えるか

文科省の政策文書への応え方

1. 文書で言われている具体策の**例を実行**する

前頁赤字のものは,

**もちろん導入した方がいい**

6

## 政策にどう応えるか

文科省の政策文書への応え方

1. 文書で言われている具体策の**例を実行**する

しかし、

・**組織構成員への理解の浸透**と

・**必要性の共感**が

ない状態で導入すれば、

**失敗するか、形だけのものになる**

7

## 政策にどう応えるか

文科省の政策文書への応え方

1. 文書で言われている具体策の**例を実行**する
2. 文書で言われている具体策の**ねらいを追及**する

黒字が**ねらい**、赤字が**例**

・学修成果の把握 (**到達度の測定**、**ルーブリック**)

・教員の教育力の向上 (**FD**、**教員評価**)

・教育方法の改善 (**アクティブラーニング**)、  
成績評価の厳格化 (**GPA**)

・教育課程の体系化 (**シラバス**、**ナンバリング**)

8

## 政策にどう応えるか

例えば

・学修成果の把握 (**到達度の測定**、**ルーブリック**)

赤字は**例** ◇ルーブリック

(大多数の大学で)今は手が届かない

黒字は**ねらい** ◇学修成果の把握

「学修成果の見える化」が前提条件

そのためには何を？

合意できるところから部分的にでもやっていく

9

## 政策にどう応えるか

1. 授業目的を明確に
2. 成績評価は授業目的への到達度で行う
3. そのためには評価の手段となる試験等を授業目的への到達度を測るものに (ルーブリックは達成水準を明確化しそれらを受講生と共有するためのものとして使われている)

1と2でも十分難しい。しかし大学評価が過程主義から成果主義に移行しつつある今、1と2は不可欠。  
**1と2から始めれば、3のニーズが浸透する。**

10

## 政策にどう応えるか

文科省の政策文書への応え方

1. 文書で言われている具体策の**例を実行**する
2. 文書で言われている具体策の**ねらいを追及**する

文書全体のねらいは？

全学教育機構という文脈では、「アメリカ並みに勉強させる」

11

## 政策をどう利用するか

政策：「アメリカ並みに勉強させる」

有効な手段

1. 授業でやったことを少し発展させる、という課題を出すことで、勉強し思考する自分を当たり前のものにする
2. 課題をやってこななければ点を引き、総点数が足りなければ落とすことで、自分の行動だけが成績を決めることを叩き込む

12

## 政策をどう利用するか

なぜ勉強しない？

⇒ ある程度勉強しなくても何とかなることを経験的に知っている

だったら、「ところが**大学では**何とかならない」ということを経験的に知ってもらう

それが初年次教育

「**単位は**与えられるものではない。**勝ち取らなければならぬ**もの！」

13

## 政策をどう利用するか

つまり、初年次教育は政策に一致する

⇒ **文科省**の政策を全学教育機構の政策実現のテコに

文科省の政策

× **表面**を見てあわてる、反発する

○ **わらい**を汲み取り、自分たちの既定方針を後押しし予算をつけてくれるものとして利用する

14

## 政策をどう利用するか

ミッション再定義：

たしかに組織再編が透けて見える

しかし

どういう組織、どういう形態になっても初年次教育が必要

⇒ 【全学教育機構の**絶対的な強み**】

自信を持ってミッションを提唱すべき

15

## 政策にどう応えるか revisited

初年次教育：

教員にとっては面倒

しかし、学生の成長を目撃できる

しかもそれは教員がねらった成長

⇒ 学生が成長する大学に

16

## 政策にどう応えるか revisited

「学生が成長する大学」の意味するところ

『大学改革プラン』p.1

「**社会を**変革する**エンジン**としての大学の役割が**国民に実感**できることを目指して」

学生が成長する

⇒ 学生が自己変革を実感

17

## 政策にどう応えるか revisited

☆「**どういう組織にするか**」に関係なく初年次教育は必要

☆反対に、初年次教育は「**どういう組織にするか**」の理由づけとして最適

18